

5 . 中部地域のまちづくり

(1) 中部地域の概況

本地域はさぬき市の中央部に位置し、西は三木町、北・東・南はさぬき市内の山林に囲まれている地域です。

西方の高松平野と連なった平野が本地域の大部分を占め、大小のため池と河川・水路が美しい田園景観を形成しています。

また、市の重要な幹線道路である主要地方道の高松長尾大内線が地域の南部を東西に横断しており、その沿道には商業機能の集積がみられます。



(2) 中部地域の現状と課題

本地域の北西部に高松東ファクトリーパーク、南西部に東香川食品産業ファブリックなどの工業・農工団地があり、有名企業の立地もみられます。高松東ファクトリーパークは、周辺環境整備とともに、企業誘致を推進していく必要があります。(図)

志度寺から長尾寺までのへんろ道は、本地域の西部を縦断する県道志度山川線沿いにあります。近年、お遍路さんの安全と憩いの場として、歩道やあずまやの整備を進めています。(図)

本地域には、ため池等が田園地帯の中に点在しており、西に鴨部川、東に津田川が流れ、うるおいある田園景観が形成されています。特に、鴨部川の中流域には、市民ボランティアが土手にあじさいを植栽したあじさいロードが整備されているなど、景観に配慮した整備が進められています。

今後は、他の河川においても、このような景観に配慮した河川整備を進め

ていくことが重要です。(図)

鉄道については、本地域の北側を JR 高徳線が横断しており、神前駅と造田駅があります。また、ことでん長尾線が西方に伸びています。しかしながら、駅舎や線路沿道の環境整備が不十分であるとともに、駅へのアクセス性が低い現状であり、今後、一層の利用促進を図るため、利便性の向上に努める必要があります。(図)

北西部地域から続く県道石田東志度線は、現在、長尾街道までつながっていますが、主要地方道三木津田線に沿うようにクランク状になっています。今後、線形を直線に改良するとともに、主要地方道高松長尾大内線まで南伸させ、主要地方道志度山川線と並行に走る市内の南北軸を形成することが重要です。(図)

東部地域から隣の三木町まで抜ける主要地方道三木津田線は、国道 11 号と主要地方道高松長尾大内線の間位置する東西軸として、東西のアクセス性の向上を図るため、線形の改良等を検討していく必要があります。(図)

主要地方道高松長尾大内線沿道の市街地の背後には、高松市から続く讃岐平野を形成しており、広大かつ良好な農地が広がっています。その一部では、ミニ開発による宅地造成がみられるため、今後は適正な開発の誘導による良好な田園居住空間の形成が求められています。(図)

本地域の南部には、亀鶴公園、みろく自然公園等、自然環境を活かしたレクリエーション施設が充実しているとともに、亀鶴公園に隣接して長尾総合公園、ツインパルながお、みろく自然公園内には大川地区の歴史民俗資料館や国の重要文化財である旧恵利家住宅があり、隣接して富田茶臼山古墳があります。このように、文化・スポーツ・レジャー・レクリエーションの機能が南部に集積しています。また、東部地域と接している雨滝山の麓には、雨滝森林浴公園、雨滝自然科学館があります。

これらの既存の施設を有効活用し、市民の多様な余暇活動ニーズを満たしていくとともに、他の観光拠点とネットワーク化することにより、市内周遊型の観光振興を図っていくことが重要です。(図)

主要地方道高松長尾大内線の一部の沿道では、交通基盤の整備に伴い、郊

外型の商業施設が集積しつつあり、開発圧力が徐々に高まってきています。

今後は周辺環境へ配慮しながら、将来的な土地利用や開発動向を見極め、沿道商業機能の集積の誘導・規制の検討が必要です。(図)

.....

長尾、寒川、大川の各支所の周辺地域は、長尾街道沿いに古くから形成されている市街地であり、生活に密着した公共施設、商業施設の集積がみられます。高松長尾大内線沿いの沿道サービス型商業施設の進出により、機能分担を図りながら、適切な土地利用方策を検討していく必要があります。

また、合併により公共的施設の統廃合や適正配置を検討していくことが重要であり、既存の施設の有効活用と機能強化を進める必要があります。特に、さぬき市民病院においては、施設の老朽化も進んでいるため、移設・改築等の整備を進めることが求められています。(図)

.....

長尾寺が面している旧長尾街道は、かつての街道としての面影を残しています。

今後、へんろ道、長尾寺の整備とともに、歴史ある町並みの整備等を進めていくことが重要です。(図)

現況・課題図



① ⑬

高松東ファクトリーパーク、東香川食品産業ファブリックなどの工業・農工団地があり、有名企業の立地がみられる。高松東ファクトリーパークには、まだ空地があるため、企業誘致を推進していく必要がある



⑬ ⑲

長尾寺が面している旧長尾街道は、かつての街道としての面影を残している
へんろ道、長尾寺の整備とともに、歴史ある町並みの整備を進めていくことが重要である



⑭

長尾街道沿いに古くから形成されている市街地であり、生活に密着した公共施設、商業施設の集積がみられる。高松長尾大内線沿いの沿道サービス型商業施設の進出により、機能分担を図りながら、適切な土地利用方を検討していく必要がある
また、合併により公共施設の統廃合や適正配置を検討していくことが重要であり、既存の施設の有効活用と機能強化を進める必要がある。特に、市民病院においては、施設の老朽化も進んでいるため、移設・改築等の整備を進めることが求められる



⑫ ⑬

高松長尾大内線の一部の沿道では、交通基盤の整備に伴い、郊外型の商業施設が集積しつつあり、開発圧力が徐々に高まってきている。今後、周辺環境へ配慮しながら、将来的な土地利用や開発動向を見極め、沿道商業機能の集積の誘導・規制の検討が必要である



②

志度寺から長尾寺、大窪寺までを結ぶへんろ道には、歩道整備やあずまの建設が進んでいる。このような整備を進めるとともに、一層安全で景観に配慮したへんろ道づくりを進めることが重要である



③

本地域の西側を流れる鴨部川と、東側を流れる津田川は、広大に広がる農地へ水を供給しているとともに、潤いある田園景観を形成している。鴨部川の中流域には、市民ボランティアが土手にあじさいを植栽したあじさいロードが整備されているなど、景観に配慮した整備が進められている。今後は、このような景観に配慮した河川整備を進めていくことが重要である



④ ⑦ ⑲

本地域にはJR高徳線、ことでん長尾線があり、JR神前駅とJR造田駅、ことでん長尾駅が設置されている。しかしながら、駅舎や線路沿道の環境整備が不十分であるとともに、駅へのアクセス性が低い現状であり、今後、一層の利用促進を図るため、利便性の向上に努める必要がある

⑥

東部地域から隣の三木町まで抜ける主要地方道三木津田線は、国道11号と主要地方道高松長尾大内線の間位置する東西軸として、線形の改良等を検討していく必要がある

⑤

北西部地域から続く石田東志度線は、現在、長尾街道までつながっているが、三木津田線に沿うようにクランク状になっている。今後、線形を直線に改良するとともに、主要地方道高松長尾大内線まで南伸させ、志度山川線と並行に走る市内の南北軸を形成することが重要である



⑧

讃岐平野の良質な農地が広がっている。今後は、道路等の整備に伴う開発の適切な誘導を行い、田園居住環境の保全を進めていくことが必要である



⑨ ⑩ ⑪ ⑮ ⑯

本地域の南部には、東にみろく自然公園や歴史民俗資料館、富田茶臼山古墳など、自然・歴史・文化の拠点がある。西には潤いある亀鶴公園と充実した設備の長尾総合公園、温泉施設のツインバルなどがおがレジャー・レクリエーション拠点を形成している。また、東部地域と接する雨滝山の麓には、雨滝森林浴公園、雨滝自然科学館が整備されている。これらの既存の施設を有効活用し、市民の多様な余暇活動ニーズを満たしていくとともに、他の観光拠点とネットワーク化することにより、市内周遊型の観光振興を図っていくことが重要である



(3) 中部地域のまちづくりの目標

1) のどかでやすらぎある良好な田園環境づくり

農業振興に伴う農地の生産基盤整備や農村集落の整備保全と一体となったのどかな田園風景の形成を図ります。

2) まとまりある市街地及び集落地の形成と新たな賑わい空間づくり

田園環境と調和した市街地及び集落地の形成と、都市的サービス機能の充実や居住環境の充実を図ります。

3) 地域内のネットワーク及び地域間の連携強化を促進する都市基盤づくり

東西及び南北方向の主要な幹線道路整備による地域内及び地域間のネットワークを強化し、人や物、情報の流れの活性化を図ります。

(4) 中部地域の将来的な空間構造

1) 都市軸

高松自動車道を「広域連携軸」として位置づけるとともに、県道高松志度線(延伸)、主要地方道三木津田線(一部改良を含む)、主要地方道高松長尾大内線を市外と地域を結ぶ「都市間連携軸」と位置づけます。また、市内を南北に連絡する主要地方道志度山川線、県道石田東志度線(主要地方道高松長尾大内線まで一部改良延伸)、県道富田西鴨庄線から県道石田東志度線につながる路線、県道富田中鴨部線から県道富田西鴨庄線につながる路線、オレンジタウンから主要地方道高松長尾大内線までつながる市道、主要地方道高松長尾大内線と並行して走る長尾街道、東部地域との連絡道路である主要地方道津田川島線、県道富田中津田線、本地域の南側を横断する県道三木寒川線、大川南部農道(現在整備中)を「都市内連携軸」と位置づけます。さらに、JR高徳線、ことでん長尾線を「鉄道軸」として位置づけます。さらに、鴨部川、津田川を「水辺アメニティ軸」として整備を図るとともに、北西部地域の志度寺から、長尾寺を通過して南部の大窪寺までのへんろ道を「遍路・歴史ネットワーク軸」として沿道環境の整備に努めていきます。

2) 拠点

長尾支所、寒川支所、大川支所周辺は、合併前の旧町の公共的施設が集積している地域であるため、「近隣拠点」と位置づけます。また、長尾支所周辺と寒川支所及び市民病院周辺は「賑わい創出拠点」として、商業機能の集積を図るとともに、高松東ファクトリーパークと東香川食品産業ファブリック周辺を「産業拠点」として位置づけ、活力ある地域づくりを進めます。

北側を通る高松自動車道の志度インターチェンジと津田寒川インターチェンジ周辺を「流通拠点」と位置づけるとともに、雨滝自然科学館や長尾総合公園、長尾寺、みろく自然公園、富田茶臼山古墳を「歴史・文教・市民スポーツ振興拠点」として、既存施設等の利活用の促進を図ります。また、亀鶴公園やみろく自然公園、アルファ津田カントリークラブ、雨滝森林浴公園、春日温泉は「癒しのレジャー・レクリエーション拠点」として、自然と親しめる癒しの空間づくりを進めます。

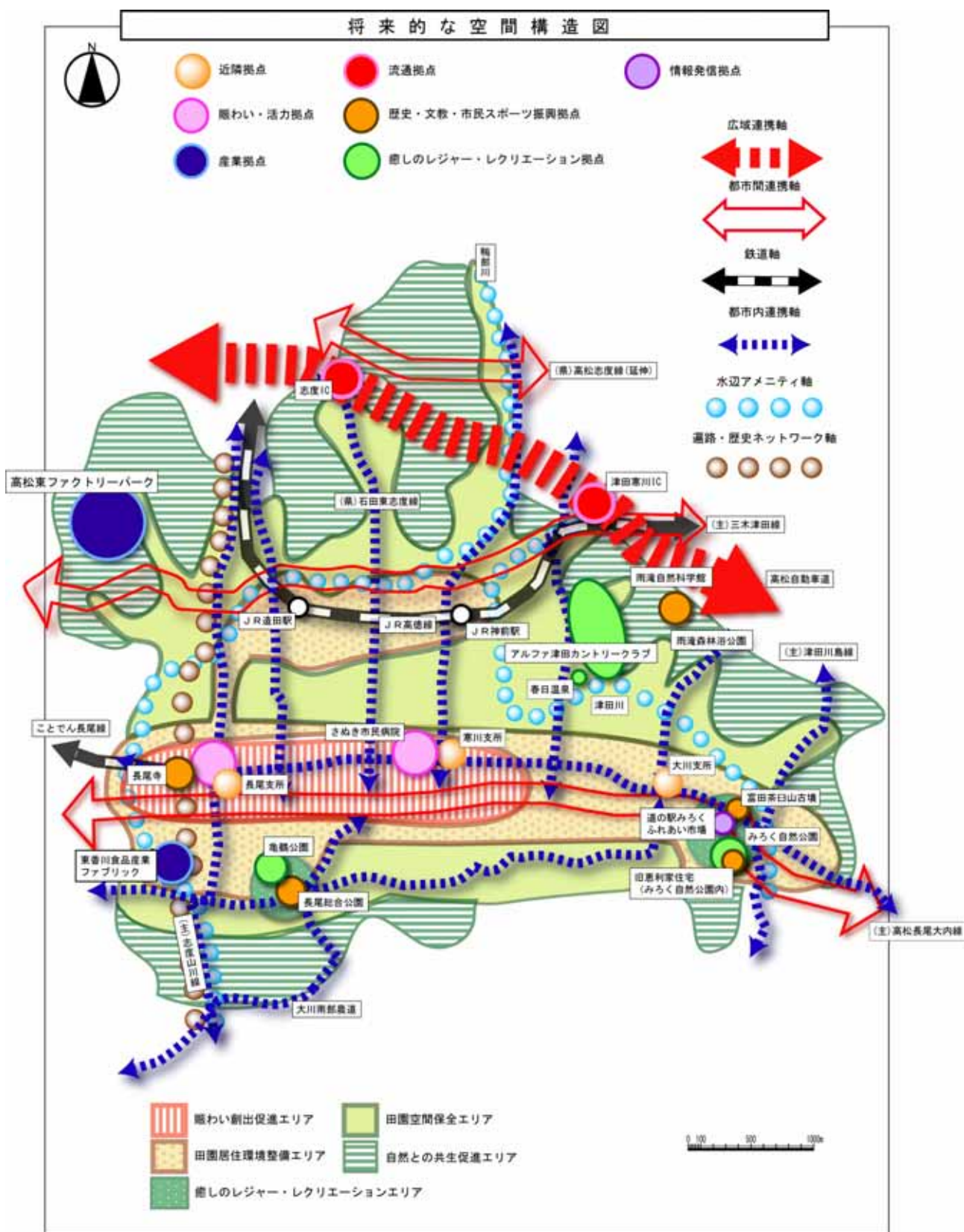
さらに、道の駅みろくやふれあい市場を「情報発信拠点」と位置づけ、来訪者に対してさぬき市の特産品や情報を提供する場として利活用を図ります。

3) エリア

長尾街道沿いの長尾支所、寒川支所とさぬき市民病院周辺及び主要地方道高松長尾大内線の商業集積地を「賑わい創出促進エリア」と位置づけます。また、主要地方道高松長尾大内線の沿道の住宅地及び田園地帯については、農地の保全と住環境の整備のバランスに配慮する必要があるため、「田園居住環境整備エリア」として、秩序ある整備を推進します。

さらに、良好な農地が広がる地域については、「田園空間保全エリア」と位置づけるとともに、周辺の山林地帯については「自然との共生促進エリア」として自然環境の保全に努めます。

亀鶴公園周辺及びみろく自然公園周辺については、「癒しのレジャー・レクリエーションエリア」として多様な資源の活用の促進を図ります。



(4) 中部地域のまちづくりの方針

1) 中部地域の土地利用方針

長尾支所、寒川支所、大川支所周辺は、「行政サービス拠点地区」として、地域の行政サービスの供給拠点として、一層の機能強化を図ります。

長尾支所周辺については、「商業業務地区」として、既存商店街の活性化を図るとともに、一層の商業機能の集積を促進し、市民生活の利便性の向上と賑わいの創出を促進します。

主要地方道高松長尾大内線の一部沿道と、長尾街道の一部沿道及び長尾寺周辺、さぬき市民病院周辺等は、「沿道業務サービス地区」と位置づけ、郊外型商業施設の立地に伴う周辺整備や既存の商店街の活性化を図ります。

高松東ファクトリーパークや東香川食品産業ファブリック等の工業・農工業務地においては、「工業地区」と位置づけ、利便性やアクセス性の向上に努めるとともに、優良企業の育成・新規参入を促進し、市の産業基盤の強化を図ります。

長尾街道沿道の既存の住宅地は、良好な住環境整備を進め、快適な生活空間を創出する「市街地住宅地区」とします。

長尾総合公園、長尾寺周辺、みろく自然公園、富田茶臼山古墳周辺、旧恵利家住宅、雨滝自然科学館は、市民活動の活性化と地域文化の振興を図るため、「歴史・文教・市民スポーツ拠点地区」として、既存施設の維持管理や市民の利活用の促進を図ります。

JR 造田駅周辺、JR 神前駅周辺、主要地方道志度山川線及び主要地方道高松長尾大内線沿道は、農地と宅地が混在する地域となっているため、今後は無秩序な開発を抑制し、生活環境と農地の調和を図る「田園保全居住地区」とします。

本地域全域に広がる田園地帯は、「田園環境保全地区」として、農業生産基盤の充実を図るとともに、農地やため池、水辺空間、田園景観の保全を進めます。

丘陵山地については、「自然保全地区」として森林や生態系の保全を進めます。

亀鶴公園周辺、みろく自然公園、雨滝森林浴公園、アルファ津田カントリークラブ等は、「レジャー・レクリエーション拠点地区」として、緑とうるおいある癒しの空間づくりを進め、一体的な整備を進めます。

2) 中部地域の整備方針

道路網等の整備方針

- ・ 国道 11 号と主要地方道高松長尾大内線に挟まれた市の中央部の東西軸として、主要地方道三木津田線の利便性の向上を図るため線形の改良を検討し、整備を推進していきます。
- ・ 市の南北幹線道路として、県道石田東志度線を直線的に南伸させ、北西部地域から主要地方道高松長尾大内線までの連絡道路の整備を推進します。
- ・ 本市の北側の東西のアクセスを円滑にするため、県道高松志度線を延伸し、東部地域の国道 11 号につなげます。
- ・ 南方の東西連絡道路として、周辺の田園環境に配慮しながら大川南部農道の整備を進めます。
- ・ 東部地域の国道 11 号と主要地方道高松長尾大内線の連絡道路として、主要地方道津田川島線、県道富田中津田線の計画的な整備・改良により、アクセス性の向上を図ります。
- ・ 主要地方道高松長尾大内線は市の東西をつなぐ主要幹線道路であり、交通量も多いため、開発動向を見極めつつ、沿道環境に配慮した整備を進めます。
- ・ 長尾街道と旧長尾街道については、市民生活に密着した生活道路として、沿道の宅地等に配慮した整備を進めるとともに、公共施設間の連絡道路として、利便性の向上を図ります。
- ・ 志度インターチェンジ、津田寒川インターチェンジへ連絡する各道路のネットワークを充実させ、体系的な交通基盤整備に努めます。
- ・ JR 高德線、ことでん長尾線の線路沿いの景観整備等を事業者と調整を図りながら推進します。
- ・ 主要地方道志度山川線からオレンジタウンを抜けて県道石田東志度線までを東西につなぐため、東西連絡道路の整備を進めます。
- ・ 北西部地域のオレンジタウンから高松長尾大内線をつなげ、地域内の南北連絡を円滑にします。
- ・ 沿道に整備されているあずまやの維持管理や歩道整備を進め、お遍路さんが快適に歩行できるへんろ道づくりに努めます。
- ・ 近隣住区内の生活交通の円滑化や防災性の向上のため、主要生活道路等の整備を進めます。

自然・田園環境、河川、公園、緑地等の整備方針

- ・ 鴨部川や津田川など親しみある河川景観を住民自身の手で行っているあじさいロードづくりを支援し、その他の住民主体のまちづくり活動への波及を促します。
- ・ みろく自然公園、長尾総合公園、亀鶴公園、雨滝森林浴公園等、市民の憩いの場となる緑地・公園等の利用促進及び有効活用等を積極的に進めます。
- ・ J R 造田駅周辺、J R 神前駅周辺、長尾支所周辺、寒川支所周辺については周辺の農地等を活用して、住民の身近な憩いの場となるような公園の整備を検討します。

市街地、町並み景観等の整備方針

- ・ 長尾寺周辺及び旧長尾街道の古くからの町並みを活かし、歴史的な景観整備を進めます。
- ・ 駅前の駐輪対策や駅周辺の通学路の安全性・快適性の向上を図ります。
- ・ 主要地方道高松長尾大内線沿道等においては、無秩序な宅地開発を防止し、農業環境との調整を図りながら、道路整備に合わせた住宅、沿道業務サービス施設の立地を誘導し、良好な市街地形成を図ります。
- ・ 旧長尾街道沿いの既成市街地においては、農地と宅地の混在による環境悪化に配慮しながら、建築物の建替更新に合わせ、道路整備等の適切な居住環境改善を進めます。

その他の施設等の整備方針

- ・ 老朽化したさぬき市民病院の改築等の検討を進めるとともに、保健・医療・福祉の連携を強化し、安心な市民生活の確保に努めます。
- ・ 長尾、寒川、大川の各支所については、地域の行政サービスの拠点機能の強化を図るとともに、他の公共施設やコミュニティ施設との有機的な連携を強化します。また、市役所本庁舎の計画・整備に伴い、効果的・効率的な配置の検討を行います。
- ・ 道の駅や直売所でさぬき市の特産品などの販売を促進します。また、本地域に点在する休耕田等を食育のための体験農園や市民農園として活用します。
- ・ 平野部の農地及び宅地においては、集中豪雨時の中小河川の氾濫による浸水被害への対策を強化します。
- ・ 高松東ファクトリーパークは、周辺環境整備とともに、空地への企業誘致を推進します。

整備方針図



主要地方道志度山川線と県道石田東志度線を東西につなぐため、東西連絡道路の整備を進めます。

国道11号と主要地方道高松長尾大内線に挟まれた市の中央部の東西軸として、利便性の向上を図るため線形の改良を検討し、整備を推進していきます。

本市の北側の東西のアクセスを円滑にするため、県道高松志度線を延伸し、東部地域の国道11号につなげます。

線路沿いの景観整備等を事業者と調整を図りながら推進します。

インターチェンジへ連絡する各道路のネットワークを充実させ、体系的な交通基盤整備に努めます。

駅前の駐輪対策や駅周辺の通学路の安全性・快適性の向上を図ります。



道路網等凡例

整備中・整備計画中の道路	
県道・市道	
主要地方道	
高速道路・有料道路	
JR	
私鉄	
へんろ道・四国のみち	

整備方針等凡例

道路・鉄道網等の整備	
自然・田園・河川・公園・緑地等の整備	
市街地・町並み等の整備	
その他施設等の整備	

鴨部川や津田川など親しみある河川景観を住民自身の手で行っているあじさいロードづくりを支援し、その他の住民主体のまちづくり活動への波及を促します。

高松東ファクトリーパークは、周辺環境整備とともに、空地への企業誘致を推進します。

北西部地域のオレンジタウンから高松長尾大内線をつなげ、地域内の南北連絡を円滑にします。

沿道に整備されているあずまの維持管理や歩道整備を進め、お通路さんが快適に歩行できるへんろ道づくりに努めます。

近隣住区内の生活交通の円滑化や防災性の向上のため、主要生活道路等の整備を進めます。

長尾寺周辺及び旧長尾街道の古からの町並みを活かし、歴史的な景観整備を進めます。

平野部の農地及び宅地においては、集中豪雨時の中小河川の氾濫による浸水被害への対策を強化します。

生活道路として、沿道の宅地等に配慮した整備を進めるとともに、公共施設間の連絡道路として、利便性の向上を図ります。

さめき市民病院

老朽化したさめき市民病院の改築等の検討を進めるとともに、保健・医療・福祉の連携を強化し、安心な市民生活の確保に努めます。

南方の東西連絡道路として、周辺の田園環境に配慮しながら整備を進めます。

主要地方道高松長尾大内線沿道等においては、無秩序な宅地開発を防止し、農業環境との調整を図りながら、道路整備に合わせた住宅、沿道業務サービス施設の立地を誘導し、良好な市街地形成を図ります。

長尾、寒川、大川の各支所については、地域の行政サービスの拠点機能の強化を図るとともに、他の公共施設やコミュニティ施設との有機的な連携を強化します。また、市役所本庁舎の計画・整備に伴い、効果的・効率的な配置の検討を行います。

市の東西をつなぐ主要幹線道路であり、交通量も多いため、開発動向を見極めつつ、沿道環境に配慮した整備を進めます。

旧長尾街道沿いの既存市街地においては、農地と宅地の混在による環境悪化に配慮しながら、建築物の建替更新に合わせ、道路整備等の適切な居住環境改善を進めます。

市の南北幹線道路として、県道石田東志度線を直線的に南伸させ、北西部地域から主要地方道高松長尾大内線までの連絡道路の整備を推進します。

北東部地域、東部地域の国道11号と主要地方道高松長尾大内線の連絡道路として、計画的な整備・改良により、アクセス性の向上を図ります。

道の駅や直売所でさめき市の特産品などの販売を促進します。また、本地域に点在する休耕田等を食育のための体験農園や市民農園として活用します。

みろく自然公園、長尾総合公園、亀鶴公園等、市民の憩いの場となる緑地・公園等の利用促進及び有効活用等を積極的に進めます。

